

下湯川観音堂に

お身代わり仏像が奉納されました

去る7月28日、下湯川観音堂（有田川町下湯川）の本尊である観音菩薩立像（平安時代後期・12世紀）の複製（お身代わり仏像）が同観音堂に奉納されました。このお身代わり仏像とは、和歌山県立博物館が和歌山県立和歌山工業高等学校の協力を得て、3Dプリンターを用いた文化財の精巧な複製を制作奉納されたものです。

近年、全国的に文化財の盗難が多発していることや、高齢化などによって管理や保存が困難になってきています。この制作奉納は地域の寺社などにある文化財を博物館等で保管し、かつ、信仰されてきた環境も従来通り維持するために行われている取り組みです。平成24年度から28年度までの5年間に、県内10カ所の寺社に21体の複製が安置されてきました。

下湯川観音堂は、本年1月から3月に県立博物館で開催された企画展「有田川中流域の仏教文化」の事前調査において、平安



時代の仏像などが数多く発見されました。これらの資料は、企画展で展示公開されましたが、この貴重な文化財をどう管理していかかが地域で検討された結果、企画展終了後は県立博物館に寄託されることになり、本尊のお身代わり仏像が制作されることになりました。お身代わり仏像の制作は、4月から始まり、仏像の計測やデータ修正を和歌山工業高等学校産業デザイン科の7人の生徒が担当し、高校所蔵の3Dプリンターで出力した後、部品の接着や表面研磨、下地作りを博物館職員が行い、アクリル絵の具による着色作業を和歌山大学教育学部美術教育専攻の学生が行って仕上げました。

奉納当日には、高校生6人と大学生1人が下湯川観音堂を訪れ、下湯川区長や区民に迎えられる中、生徒代表からお堂の管理者にお身代わり仏像が手渡されました。その後、観音堂に安置され、地域住民により、般若心経が唱えられました。

今回の奉納は、生徒や学生の皆さまにとっては地域住民と交流を行うことで学びをより充実したものにすることができ、また住民の皆さまにとってはお身代わり仏像を身近に感じていただく機会となりました。

広告 町収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

●新・家族葬



有田地区唯一の
家族葬ホール

共感葬儀

SHARE
シェア有田

24時間365日対応 お気軽にお問い合わせ下さい
フリーダイヤル トモニ シンパシー
0120-106-484

●一般葬



人と人との絆を感じる
オリジナルプラン

やすらかに、との祈りを含めて
funéraire
フューネラル

●社葬



最高級のオリジナルプラン

●福祉葬



家族だけのシンプルプラン

24時間365日対応 お気軽にお問い合わせ下さい
フリーダイヤル イーヨ ヨニヨイ
0120-14-4241

● 全ての価格と葬儀のかたちに対応するオレンジライフが安心を約束します。 株式会社 オレンジライフ 〒643-0031 有田郡有田川町野田187